

教科 Subject	家庭科		科目 Course	家庭基礎	学年 Grade	4	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	新家庭基礎 (大修館)			副教材Additional Text /materials				
科目の目標 Course Objectives			生活を主体的に創造する力を育て、これからの社会の中でともに生きる多角的な視点を養う。					
評価の基準 Assessment Standards			テスト60%、提出物20%、その他20%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents		到達目標 Students will be able to ~			
1 学期	4	1	人生をみつめる。		人の一生と発達課題、生活設計を考える。			
		2	家族をみつめる。		家族と家族関係について理解する。			
		3			家庭生活や家族に関わる法律(民法)に関心を持つ。			
	5	4	こどもを育てる。		家庭生活と福祉との関係を理解する。			
		5			これからの家庭や社会のあり方を考える。			
		6			こどもの成長発達の特徴を理解する。			
6	7	おもちゃ作り		子供の人間形成と親の役割との関連を理解する。				
	8	おもち作り		乳幼児の発達段階を理解し、年齢に合ったおもちゃを製作する。				
2 学期	9	9	高齢者と生きる。		高齢者の心身の特徴を理解する。			
		10	食生活を営む。		日本の高齢社会の特徴と高齢者福祉について理解する。			
		11			食生活の現状を把握する。			
	10	12	調理実習		5大栄養素の特徴とそれ多く含む食品について理解する。			
		13			食品の選択と取り扱いについて理解する。			
		14			和洋中の料理の特徴を理解する。			
11	15	衣生活を営む。		和調理の技術を身につける。				
	16			計画的な衣服生活について理解する。				
	17			被服材料や被服の手入れの方法を理解する。				
12	18	被服製作。		基礎的な縫製技術の習得する。				
	19			被服を製作する。				
	20							
3 学期	1	21	資源を生かす。		経済の仕組みと家計の関係を理解する。			
		22	住生活を営む。		現代の消費生活の特徴を理解する。			
		23			消費者の権利と責任を理解する。			
	2	24	住生活を営む。		我々の消費活動が循環型社会の関係することを理解する。			
		25			現代の住生活の特徴を理解する。			
		26			健康で安全な住生活のための条件や管理を理解する。			
3	27	住生活を営む。		住居と環境との関わりを考える。				
	28							

履修者へのメッセージ Message for Students

実習がありますので、忘れ物をしないように、しっかりと授業の準備をして授業にのぞむようにして下さい。

教科 Subject	情報		科目 Course	社会と情報	学年 Grade	5	単位数 Credits	2
教科書 Textbook	高校社会と情報 (実教出版)			副教材Additional Text /materials	高校社会と情報学習ノート			
科目の目標 Course Objectives			情報の考え方の基礎となる科学や技術を学び、問題を解決する能力を身につける。					
評価の基準 Assessment Standards			テスト50% 提出物40% その他10%					
Term	Month	Week	学習内容&課題 Study Contents	到達目標 Students will be able to ~				
1 学期	4	1	情報社会	情報と情報社会とは 社会の変化と個人の責任 メディアとその特徴 個人情報とその保護				
		2						
		3						
	5	4	コミュニケーション	個人情報とその保護 メールの利用 共通の取り決め				
		5						
		6						
6	7	コンピュータリテラシー	インターネットの仕組み インターネットのサービス クラウドコンピューティング インターネット検索・メール実習【PC】 文書作成ソフトの基礎【PC】 ポスター作成【PC】					
	8							
	9							
2 学期	9	10	SGHアーカイブズ 情報安全	SGHアーカイブズの活用【SGH】 個人による安全対策 組織による安全対策 安全のための情報技術 暗号化 暗号化の仕組み 法規による安全対策 知的財産権の概要				
		11						
		12						
	10	13	コンピュータリテラシー	法規による安全対策 産業財産権 著作権 著作権の利用 プレゼンテーションソフトの基礎【PC】 表計算ソフトの基礎【PC】				
		14						
		15						
3 学期	1	16	デジタル化	デジタル情報の特徴 数値や文字の表し方 圧縮の仕組み				
		17						
		18						
	2	19	問題解決	情報の収集 分析のための工夫				
		20						
		21						
3	22	問題解決実習	コンピュータを総合的に利用した実習【PC】					
	23							
	24							

履修者へのメッセージ Message for Students

高度情報化社会で積極的に情報を活用できるように、様々な実習を通して、コンピュータの活用技術や知識を身につけます。授業に取り組む姿勢を重視しています。新しい知識や用語を正確に理解することや、1つ1つの課題を丁寧に取り組むことなどの点を意識しながら、授業に取り組みましょう。